

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	川西市社会福祉協議会			代表者名	会長 小田 秀平
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	事務局	連絡先電話番号	072-759-5200
担当者役職	常務理事	担当者氏名	船木 靖夫	連絡先E-mail	
住所	6660017 兵庫県川西市1丁目12-16				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	川西市役所	連絡先部署	総務部職員課		
担当者氏名	岸本 典子	連絡先電話番号	072-740-1142	連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	社協事業における意思決定過程の適正化
概要	今後、法人及び市内地域福祉活動のDXを進める必要があるが、同時にその前提となる人材育成や風土醸成を進めていきたい。そのために必要な具体的取り組みについての研修を希望する。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無	240K	令和6年12月13日	講演&フォローアップ	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年12月13日	講演&フォローアップ(実地)	8時20分	17時10分	60
				活動時間（分）	470
2-2. 派遣場所	会場名	川西市役所7階大会議室	最寄駅	阪急電鉄川西能勢口駅	
	所在地	川西市中央町12番1号	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	池田 昌人
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	<ul style="list-style-type: none">・企画の立ち上げから承認を得るまでの過程について考え方、具体的な方法について座学で十分説明し、その上でグループワークで実践的に体感しながら身に付けられる進め方が非常に良かった。・講師自身の体験・具体的なエピソードが語られ、その中から得られた学びを考え方と方法論に落とし込んで説明されるため、説得力があると同時に受講者に理解しやすく、記憶に残るものであった。・実践における手順に沿って整理された内容であるため大変理解しやすかった。
アドバイザーへの要望事項	今後受講者に直後と一ヶ月後に振り返りをする機会を設け、日常業務の中で実践に取り組みさせるが、その中で疑問が確認事項が出て来た時に質問させていただくことがあると思う。お手数をおかけするが、引き続きのご指導をお願いしたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	28人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数		28		

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	関係者・関係機関や地域住民との連携・協働において、情報の収集・実態把握・分析から課題解決までの一連の過程で行う社協職員のコーディネートが、現在は職員の個人個人の力量や経験頼りになっており、連携・協働の過程やスピード感にムラが生じ、十分な成果が得られないことが少なくない。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	より適切でスピーディーなコーディネートができるよう、今回の研修では、「実態や意見の整理・把握、分析」「上司が判断しやすい資料作成」「承認を得るための説明」を学び、地域支援、個人の困りごとへの支援、個人の地域や居場所への参加などにおいて、連携・協働における質・対応力・実現力を高める。成功事例をわかりやすく整理し、他のチッキや支援団体に広げ、市内全体の福祉事業の質の底上げ、人材育成に資する。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の見定め＝コンセプト・ビジョン上司の考えの確認 ・説得力ある上司への説明に必要な前提・普段からの関係構築＝上司の「期待値」を知る、質疑のシミュレーション、布石、プレゼンのポイント、普段からのコミュニケーション（ホウレンソウ） ・資料作成＝表を使ったわかりやすい資料、他の案との比較分析資料、クロス集計表の活用、5W1Hの視点 ・管理職に向けて＝コンセプト・ビジョンの周知、タスク・スケジュールの管理 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	現状は、目標設定や説明、資料作成、説明等いずれの段階においても「しっかり意識して取り組む」状態ではなく、時には段階そのものが抜け落ちていたり、おざなりになっていることもある。 例：5W1Hを意識した考察・検討が抜け落ちることがある。 複数案を考え、具体的な比較・分析をすることがほとんどできていない。 今回の研修で得た知見・技術に基づき、組織として取り組むべきこと、職員個人として取り組むべきことを実践していく。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	その場で改善を実施する位置づけで行っておらず、今後の改善に必要な考え方・方法を学ぶ内容であったため。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講師がアンケートを取られていて、現時点では結果等が入手できていない。入手でき次第情報提供する予定。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿	手始めに社協組織内での企画過程やコミュニケーション改善に取り組むが、地域住民との協議の場での説明やその資料作成にも反映し、地域福祉活動における住民自身の企画時においても活用できるよう働きかけていく。	
5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	
<p style="text-align: center; color: red;">なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい</p>		

https://www.r-igt-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

